

令和5年度 第1回 学校運営協議会の報告

令和5年6月9日15時30分より、令和5年度第1回学校運営協議会を開催しました。

出席者 木原俊行（会長）、富士原純一（委員）、中川智皓（委員）、山本博資（委員）、中橋光（委員）

※中川委員は GoogleMeet にて出席

欠席者 神田敏生（副会長）

学校長挨拶・委員紹介及び事務局紹介に続いて、次の3点について校長から報告・説明をしました。

① 令和4年度学校評価、令和5年度学校経営計画について

② 令和5年度授業アンケート（前期）について

③ スクールポリシーについて

これらの報告に対して委員長を中心に協議に入り、以下のようなご提言やご意見をいただき、学校側から説明をしました。

① 令和4年度学校評価、令和5年度学校経営計画に対して

・目標値をクリアしている項目も多く、これも日頃から先生方の努力や工夫をして取り組んでいる結果だと思う。一方で目標値に到達できなかった項目に対して今後お含めどのような計画を進めていくのか知りたい。

・コロナ禍で実施が厳しい中でも地域活動にもよく取り組んでくれた。

・志望校決定率が7割という結果が出ているが、3割の生徒は決定できていない。この部分を受け止めて考える必要がある。

・総合的な探究の時間（夕陽学）は生徒にどうつながっているのかを明確に伝えてほしい。

・教育方針も素晴らしく、学校教育の取り組み方もとても良く思っているが、保護者や生徒が理解しているのか疑問に思う。学校通信や掲示物等でもっと発信してほしい。

・音楽科の受験者数が心配の意見が複数あった。

→（回答）・音楽は趣味と考え、専門的に学びたい意識が薄くなっているが、吹奏楽の活動が社会的に復活しているので期待している。

・来年度の入試から、ユーフォニアムとサクソフォンの専攻を追加する。

② 令和5年度授業アンケート（前期）について

・昨年度と同様であるが特に意見はなかった。

③ スクールポリシーに対して

・カリキュラムポリシーに特色を出してみてもよいと思う。【(例) 海外修学旅行・夕陽学・3SK 等】
→大学では科目名を表記し、学生に具体的かつわかりやすく表現している。

・アドミッションポリシーは中学生にわかる言葉で表現してみてもどうか？という意見もあった。

・音楽科について更にもう一文追加してもよいという意見もあった。

<議決事項> なし

<まとめ>

令和4年度の学校評価結果を踏まえて、高く評価できるところもあったが進路実現や遅刻数の現状に着目し、課題を明確にしていきたい。また今年度は以下の点においても教員一同力を合わせ、充実した学校教育を目指していきたい。

①LGH（一人1台端末の活用）

②国際交流活動（海外修学旅行再開予定／6月末にインドから来訪予定）

③夕陽学の取り組み（関西万博に向けて）

今回、委員の皆さまからいただいた意見をもとに、今後もより意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。

※次回は、授業見学も含めて10月末から11月初旬頃に予定。

令和5年度 第2回 学校運営協議会の報告

令和5年11月28日(火)15時より、令和5年度第2回学校運営協議会を開催しました。

出席者 神田敏生(副会長),中川智皓(委員),山本博資(委員),富士原純一(委員),中橋光(委員)

※木原委員は都合により欠席

宮城(校長),岩元(教頭),天間(事務長),片寄(首席),杉田(首席)

議事

校長より今年度のこれまでの教育活動および令和5年度学校経営計画の進捗状況について説明、報告をしました。

委員の方に見ていただいた資料は以下のとおりです

- ①令和5年度学校経営計画及び学校評価について
 - ②第1回授業アンケート結果
 - ③学校教育自己診断について
 - ④令和6年度使用教科書について
- その他、スクール・ポリシーについて

<議題・協議事項>

○学校経営計画進捗状況に対していただいた意見

・遅刻者数の報告はあるが、若者の朝起きられない現象が明らかにされ、始業時間を遅くする議論も一部でなされていると聞く。遅刻の原因をとらえての対応も必要である。

・働き方改革の推進において一斉定時退勤日の設定もあるが、一斉が無理であれば、個々に必ず週1回定時退勤日を設けるなどで対応してはどうか。アメリカでは遠足に行かないクラスがあるなど、教員の労働を優先して行事を計画することもある。

・地域連携では、音楽科生徒が様々な場面で演奏等を行っているので、学校および周辺地域での交流はもとより、視野を広げて考える必要がある。

○学校教育自己診断に対していただいた意見

・授業に関する項目において、生徒・保護者の数値と教員の数値に差があると感じる。自宅での学習時間からみて授業中ではわかっていてもその後の学習が足りず定着されていないことが原因と考えられる。

・一人一台端末の活用については、3年生になると下がる。受験にシフトした授業ではあまり使われていない。端末を使った自習など工夫してもよいのではないか。今後、デジタル教科書にあれば自ずと活用せざるを得なくなる。

○教育活動全般について

・総合的な探究の時間(夕陽学)が、生徒にどのような力をつけるのか明確にする。

・保護者としては、学校での活動を知りたい。授業参観などを設けて欲しい。

・地域では、いわゆる以前の成人の日(二十歳の集い)でもジェンダーフリーの概念から男女という区別をなくした取組みになっている。もっと学校からそういった発信をお願いしたい。

<議決事項> 令和6年度使用教科書

<まとめ>

今年度の取組みについて、委員からいただいた上記意見をもとに、今後より意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。

最後に、次回第3回学校運営協議会は1月末から2月初旬の予定として、挨拶の後、閉会となりました。

令和5年度 第3回 学校運営協議会の報告

令和6年2月14日(火)15時30分より、令和5年度第3回学校運営協議会を開催しました。
会に先立ち、授業見学を行いました。

出席者 木原俊行(会長),神田敏生(副会長),富士原純一(委員),中橋光(委員),
中川智皓(委員)【オンラインにて出席】
宮城(校長),岩元(教頭),天間(事務長),片寄(首席),杉田(首席)
※山本委員は都合により欠席

議事

○校長より今年度のこれまでの教育活動および令和5年度学校経営計画の評価と令和6年度学校経営計画について報告、説明をしました。

○教頭・首席よりスクールポリシーについて説明しました。

委員の方に見ていただいた資料は以下のとおりです

- ①令和5年度学校経営計画及び学校評価について ②令和6年度学校経営計画及び学校評価について
③スクールポリシーについて ④その他・令和5年度第2回授業アンケート結果
<議題・協議事項>

【学校教育自己診断の結果から生徒・保護者と教員との差について】

- ・結果の数値から生徒・保護者と比べると教員の数値が低いことが気になる。
- ・生徒の評価で友達関係に関する結果が高かったのは良かった。
- ・「教員の数値が下降気味になっているのは何故か？原因があれば教えてほしい」といった質問に対して、観点別評価が導入されたことにより、教員の負担軽減を考えていく必要性がある話題へと繋がった。

【総合的な探究の時間(夕陽学)について】

- ・保護者の目線から見ると夕陽学をよく知らなかったのが率直な感想である。
- ・「万博に向けた方向性や目標があれば示してほしい。」という意見から、今年度2年探究のテーマとなった昆虫食について、外部との連携も含め来年度も講座を開き継続させることを検討していると回答した。
- ・万博に関連させ、天王寺区も今後100周年を迎えることで本校のヴィオーラホールを使って企画するなど地域交流も視野に入れてほしいという意見も頂いた。

【スクールポリシーについて】

- ・どの学校にも取り入れているSDGsに関することや「持続的な」といった言葉を入れた方がよいとかカリキュラムポリシーの項目④については音楽科のことを表しているため、音楽科と追加するよう指摘いただいた。

【学校経営計画について】

- ・新しい学習指導要領に沿っていくなら、「確かな学力」より「資質能力」といった文言を取り入れるべきであるが学校の判断であるなら問題はない。
- ・遅刻数は減少しているが、心の問題による遅刻数が増えている。
- ・防災の部分に「地域連携」を入れてほしい。

【その他、教育活動全般等】

- ・1人1台端末活用によりアンケート実施がとてもスムーズ。大阪市の学校も1人1台端末に力を入れてきているが、サーバーが落ちるなど環境が整備されていない。生徒の技術は高くなっている。

<まとめ>

今年度の取組みについて、委員からいただいた上記意見・要望をもとに、今後より意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。また、学校運営協議会の参加者と協議会の在り方をもう一度検討して欲しいというご意見がありました。生徒の声を聞くことや、オンライン参加など工夫し、来年度に向けて検討することとなりました。